

## 荒戸 寛樹 (あらと ひろき)

2009 年度 COE 研究員

連絡先: hirokiarato@gmail.com

専攻分野: マクロ経済学

研究テーマ: 最適金融政策, 経済変動と経済成長の関係についての理論分析

博士学位請求論文題目: Essays on Monetary Economics

### 学歴

2004 年 3 月 京都大学理学部卒業

2006 年 3 月 京都大学大学院経済学研究科修士課程 (経済動態分析専攻) 修了, 修士 (経済学)

2009 年 3 月 京都大学大学院経済学研究科博士課程 (経済システム分析専攻) 修了, 博士 (経済学)

### 職歴

2004 年 4 月 ~ 2005 年 3 月 京都大学大学院経済学研究科 TA (国際経済学ゼミナール担当)

2006 年 4 月 ~ 2009 年 3 月 日本学術振興会特別研究員 (DC1)

2006 年 10 月 ~ 2007 年 3 月 京都大学大学院経済学研究科 TA (上級マクロ経済学担当)

### 研究業績

#### ● 論文

“Tradeoff between inflation stabilization and growth maximization,” KIER discussion paper No.664, Kyoto University, January 2009. [査読無し]

“Optimal operational monetary policy rules in an endogenous growth Model: a calibrated analysis,” KIER discussion paper No.663, Kyoto University, January 2009. [査読無し]

“Long-run relationship between inflation and growth in a New Keynesian framework,” MPRA Paper No.15205, University Library of Munich, November 2008. [査読無し]

“Valuation of Japanese Corporations during the 1980s: evidence from an accounting dataset,” co-authored with Katsunori Yamada, Discussion Papers in Economics and Business 07-45, Osaka University, December 2007. [査読無し]

#### ● 学会報告

日本経済学会 2008 年度秋季大会口頭報告 “Optimal operational monetary policy rules in an endogenous growth model: a calibrated analysis,” 近畿大学, 2008 年 9 月 14 日. [事前審査有]

京都大学経済学会 2005 年度冬季研究集会 「貨幣的景気循環モデルの日本経済への適用可能性についての分析」, 京都大学, 2006 年 2 月 6 日. [事前審査無]

#### ● その他研究報告

六甲フォーラム 「2 部門内生的成長モデルにおけるインフレ率の動学について」, 神戸大学, 2009 年 2 月 16 日.

第3回若手経済学者のためのマクロ経済学コンファレンス「2部門内生的成長モデルにおけるインフレ率の動学について」, 大阪大学, 2009年2月8日.

応用経済学ワークショップ“Long-run relationship between inflation and growth in a New Keynesian framework,” 九州大学, 2008年10月29日.

マクロ経済学研究会“Optimal operational monetary policy rules in an endogenous growth model: a calibrated analysis,” 大阪大学, 2008年1月25日.

照会先

中嶋智之(京都大学経済研究所准教授)